

●宗教法人α Version 6.005

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 仕訳入力

- [F4入力設定]
 - ・「部門名称を仕訳摘要にセット」機能を追加しました。
部門コードを入力すると、摘要に部門名称をセットします。
- 伝票入力
 - ・登録済みの伝票番号を入力し、[F11伝票登録]を行うと重複確認のメッセージを表示するようにしました。

◆ 仕訳日記帳

- 両面印刷
 - ・[F5印刷] ボタン横に「両面印刷」を追加しました。
白紙形式のみ両面印刷対応します。
- [F3 Excel出力]
 - ・[F7出力形式] に「同一日付の出力を行う」の選択を追加しました。

◆ 勘定科目内訳書

- 内訳書の表紙に出力される期・決算期間・会社名称・住所は、決算書業務から連動していたのを、内訳書業務でも編集できるようにしました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**宗教法人db (VERSION:6.005) の変更点**”を参照してください。

①注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

宗教法人 d b (VERSION:6.005) の変更点

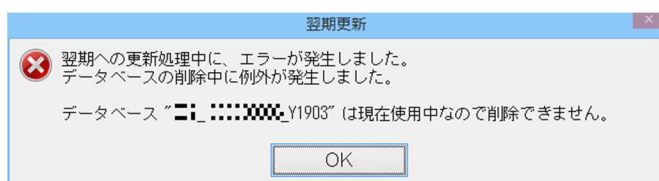
改良・修正

I. 導入・更新

1) 翌期更新

① 勘定科目内訳書

- ・表紙設定の更新に対応しました。
- ・勘定科目内訳書を作成しているマスターで、「当期のマスターをハードディスクに保存する」にチェックを付けずに更新を行うと、エラーが表示され、過年度マスターが削除されずに残っていたのを修正しました。



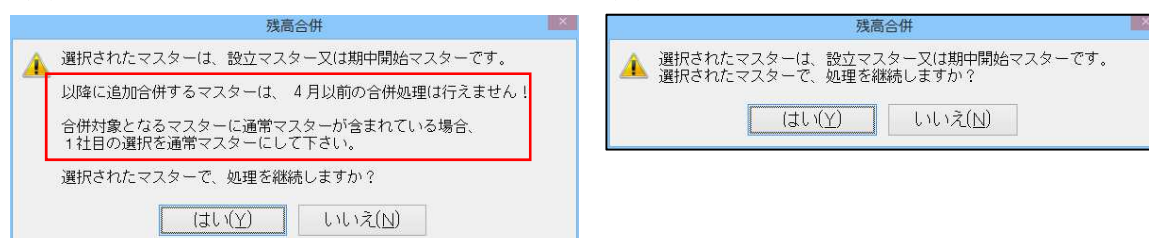
2) 前年度からの更新

① 勘定科目内訳書

- ・表紙設定の更新に対応しました。
「勘定科目内訳書を更新する」にチェックを付けた場合に、内訳書データと共に表紙設定の [会社名] [住所 (上段)] [住所 (下段)] を更新します。

3) 残高合併

- ・合併対象マスターに入力開始月が期中開始のマスターを選択した場合のメッセージを変更しました。



※変更前メッセージの2行目から4行目の注意は不要なためカットしました。
継続しても問題はありません。

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

① [F4 入力設定]

- ・「部門名称を仕訳摘要にセット」機能を追加しました。
部門コードを入力すると、摘要に部門名称をセットします。

部門

- 部門番号チェック
- 部門名称を表示
- 部門名称を仕訳摘要にセット
- 工事名称を仕訳摘要にセット

部門選択の優先順

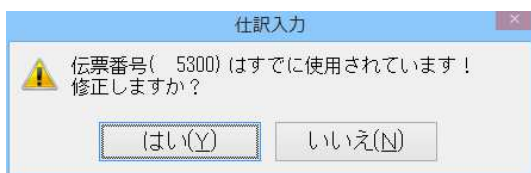
画面番号 部門番号

- 部門未入力チェック
- 完成工事チェック
- 工事番号科目チェック

部門	借方
A 部門	
摘要	
	A 部門

②伝票入力

- ・登録済みの伝票番号を入力し、[F11 伝票登録] を行うと重複確認のメッセージを表示するようにしました。



③出納帳入力

- ・表示する仕訳数が多い科目で、スクロール等で最初のページに戻り修正を行い、またスクロールや上下矢印等で画面を送り、他の仕訳を修正した時に、差引残高の計算がおかしくなる場合があったのを修正しました。

④検索

- ・検索画面で、「修正番号」に入力して Enter を押すと、先頭の仕訳の修正画面に遷移していたのを修正しました。

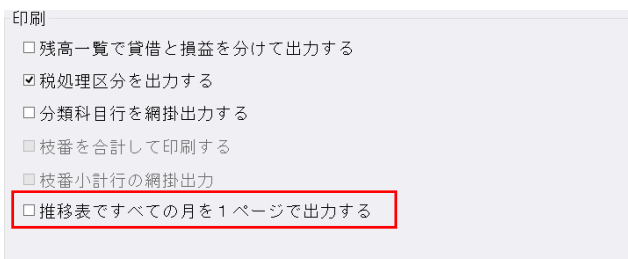
2) 元帳検索

- ・元帳検索等の複合科目選択で、科目選択ダイアログのタイトルバーをクリックまたは、×（閉じる）ボタンをクリックしてもウィンドウが消えずに、画面切替しても残っていたのを修正しました。

3) 残高問い合わせ

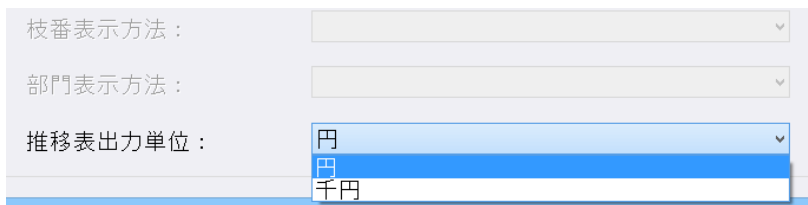
①推移貸借／推移損益

- ・推移表を1枚で1年分出力できるように、[F6 条件設定] に「推移表ですべての月を1ページで出力する」の機能を追加しました。



※16列で出力します。（四半期決算までの対応のため）

※9桁で出力します。10桁以上ある場合は[F6 条件設定]の「推移表出力単位：円／千円」を切り替えてください。



②比較残高

- ・枝番で表示した際、[F6 条件設定]にて枝番表示方法が50音順になっていると、各枝番が前期と当期でそれぞれ重複して表示されていたのを修正しました。

③部門残高問い合わせ

- ・『新規会社登録・修正・削除』の「部門範囲設定：損益のみ」にしても、[F6 条件設定]で「部門未入力残高出力する」にチェックが付いていると貸借科目も全て部門未入力として表示していたのを修正しました。

4) 伝票発行

- ・ [F5 印刷] を押したときに、印刷部数が指定できなかったのを修正しました。
- ※ [F4 プレビュー] から、「印刷 [F5]」したときは、部数指定ができていました。

5) 科目設定・残高登録

- ・ 「決算確定」しているマスターで、残高・科目名称の変更ができていたのを修正しました。
- ※残高欄で Enter キーを押下したときに変更可能になっていました。

6) 科目設定・残高登録

- ・ 『新規会社登録・修正・削除』の枝番設定：枝番入力桁数を 4 桁以下にしても、枝番残高登録で 6 桁まで登録できるようになっていたのを修正しました。
- ※枝番入力桁数 4 桁で 5、6 桁が登録できていました。

The image shows a dialog box titled '枝番入力設定' (Branch Input Setting) with a close button. It contains two fields: '枝番入力桁数' (Branch Input Number of Digits) with the value '4' and '摘要枝番処理' (Summary Branch Processing) with the value '行う' (Execute). There are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

To the right is a table with a dropdown menu showing '普通預金(0121)'. The table has three columns: '枝番' (Branch Number), '摘要' (Summary), and '枝番名称' (Branch Name).

枝番	摘要	枝番名称
0000		枝番0000
0001		枝番0001
0123		枝番0123
1234		枝番1234
12345		枝番12345
20000		枝番20000
123456		枝番123456

※既に設定桁数を超える枝番が登録されている場合、入力等の業務を開くと、実登録に合わせて「枝番入力桁数」を変更するようにしました。

※既に入力した仕訳は、当初の設定桁数を超える枝番に関しては再入力が必要になります。

- ・ 「決算確定」しているマスターで、残高・科目名称の変更ができていたのを修正しました。
- ※残高欄で Enter キーを押下したときに変更可能になっていました。

Ⅲ. 出力

1) 仕訳日記帳

①両面印刷

- ・ [F5 印刷] ボタン横に「両面印刷」を追加しました。
- 白紙形式のみ両面印刷対応します。

② [F3 Excel 出力]

- ・ [F7 出力形式] に「同一日付の出力を行う」の選択を追加しました。

The image shows a dialog box titled 'Excel 出力時のみ' (Only at the time of Excel output). It contains a checkbox labeled '同一日付の出力を行う' (Perform output for the same date).

Ⅳ. 決算

1) 決算書

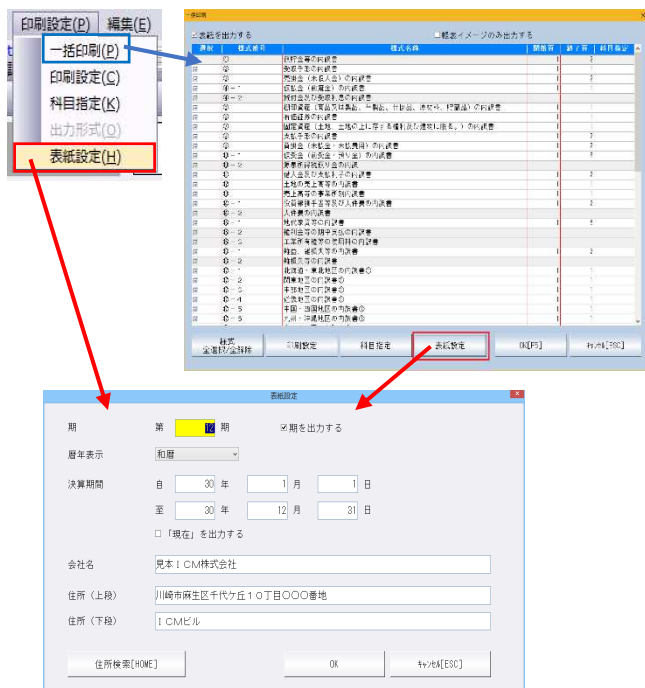
①F6 項目登録 / [表紙タブ]

- ・ 勘定科目内訳書の「表紙設定」で変更された内容を連動するように対応しました。
- 表紙の表示期間、会社名、住所（上段）、住所（下段）

2) 勘定科目内訳書

①印刷設定／表紙設定

- ・内訳書の表紙に出力される期・決算期間・会社名称・住所は、決算書業務から連動していたのを、内訳書業務でも編集できるようにしました。



※表紙設定は、一括印刷ダイアログからも選択可能です。

※オプション/オプション設定で「プレビュー、印刷時に一括印刷画面を表示する」にチェックを付けている場合は [F4 プレビュー] [F5 印刷] からでも選択可能です。

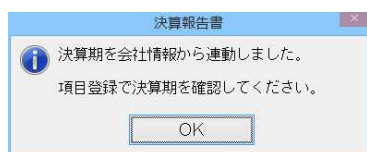
※編集した内容は、内訳書表紙と決算書表紙で双方に反映します。

※各様式の右上に表示される [〇年〇月〇日現在] は、表紙の至と同じ年月日を出力します。

※非営利(公益・社会福祉・学校・宗教)では、暦年表示は「和暦」固定になります。

※『前年度からの更新』業務では、過年度マスターから「会社名」「住所(上段)」「住所(下段)」の内容を更新することができます。

※「期」は『新規会社登録・修正・削除』業務で「決算期」を登録されている場合は、業務起動時に下記のメッセージを表示して連動します。(決算書も同様)

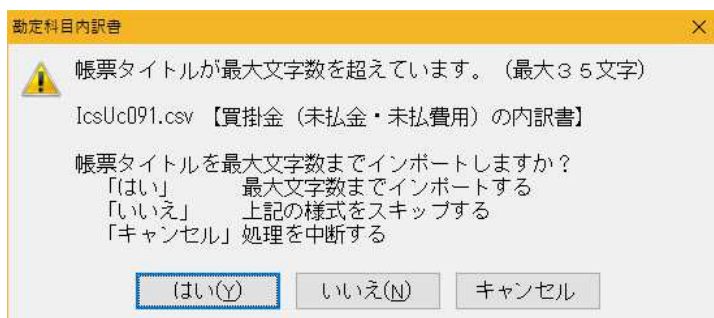


②ファイル/データインポート

- ・入力可能文字数を超過している場合に、最大文字数まで取り込むように対応しました。

※様式の帳票タイトルが最大文字数を超過している場合

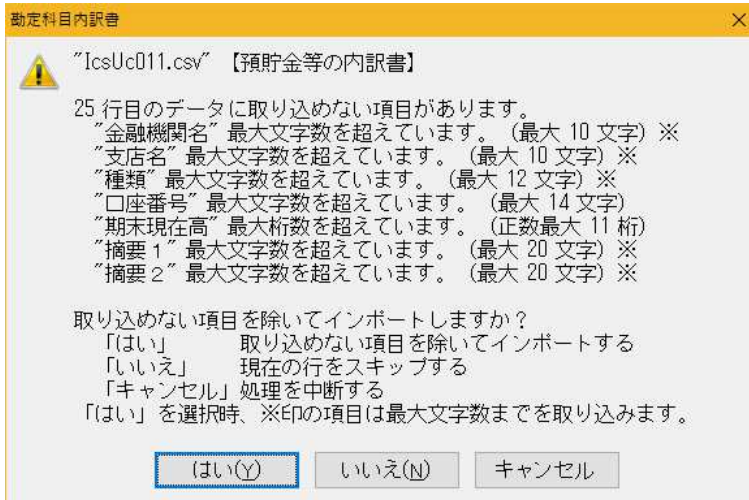
例：【買掛金(未払金・未払費用)の内訳書】で帳票タイトルが最大文字数を超過している場合



- 「はい」 ……該当の様式の帳票タイトルは最大文字数までを取り込んでインポートします。
- 「いいえ」 ……該当の様式は取り込まないで、他の様式のインポートに進みます。
次画面（インポートオプション）に、上記メッセージにある様式は表示されません。
- 「キャンセル」 ……今回のデータインポートをすべてキャンセルします。

※様式内の各項目で最大文字数・桁数を超過している場合

例：【預貯金等の内訳書】ですべての項目が最大文字数・桁数を超過している場合



- 「はい」 ……該当行データについて、取り込めない項目を除いてインポートします。
上記メッセージで末尾に※印の付いている項目は、最大文字数までを取り込みます。
- 「いいえ」 ……該当行データを取り込まないで、以降のデータのインポートに進みます。
- 「キャンセル」 ……該当行直前のデータまで取り込んで、該当行以降のデータのインポートをキャンセルします。

③F9 参照

- 参照画面で下記の動作を行うと番号が抜けた状態になるのを修正しました。
※参照データが複数ある場合で、カナ検索を行い、検索後のデータが1件となった状態で削除を行うと、カナ検索を解除したとき、削除を行ったデータの番号が詰まらず、番号が抜けた状態になっていました。（科目、取引先、金融機関の参照画面とも同様）

④編集／ソート

- 第2ソート項目を「なし」とした場合にも、第3ソート項目のソートが行われていたのを修正しました。
- ※ソートの第1ソート項目を「科目順」、第2ソート項目を「なし」、第3ソート項目がグレーアウトして「金額の大きい順」になっている状態で、ソートを実行すると、有効でないはずの第3ソート項目の「金額の大きい順」が第2ソート項目としてソートされていました。

⑤棚卸資産の内訳書

- 品目欄と摘要欄でプレビューなど出力時に改行が反映しないのを修正しました。
 - ※棚卸資産の内訳書の品目欄と摘要欄で、当初一行で入力していたところを、後から入力していた文字の途中で Enter で改行すると、入力画面上では改行された状態になっているが、プレビューなど出力すると改行が反映していなかった。（他の様式は後から改行しても反映している。）
- 【例】品目欄に当初「東京本社会計」と一行で入力していたのを、「東京本社」と「会計」に改行した場合、出力すると「東京本社会計」のまま一行で出力されていたのを、「東京本社」と「会計」に改行して出力するように修正しました。

V. 通信・移動

1) 財務マスターコピー

- ・「個人番号情報を移動する」を非表示にしました。

以上